

学科名	情報学科						
科目名	システムプログラム						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年次後期		
必修・選択の別	選択科目						
担当者	永井 秀利						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・C言語の基本を習得し、簡単なプログラムを書くことができる。 ・ライブラリ関数とシステムコールの違いを理解している。 ・プログラム言語を使ったOS固有の機能の使用法を理解している。 ・システムコールを使った簡単なプログラムを書くことができる。 						
日程と内容	<p>2015/09/17：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 2015/09/24：C言語入門（文法と制御構造の基本） 2015/10/01：C言語入門（配列、文字列） 2015/10/08：第2回～第3回の内容に関する演習 2015/10/22：第4回の演習の解説、C言語入門（関数の利用と作成） 2015/10/24：C言語入門（ポインタ） 2015/10/29：第5回～第6回の内容に関する演習 2015/11/19：第7回の演習の解説、 C言語入門（プリプロセッサ命令、構造体、ビット単位の論理演算）、システムコールと は 2015/11/21：ファイルアクセスに関するシステムコールの利用 2015/11/26：第8回～第9回の内容に関する演習 2015/12/03：第10回の演習の解説、プロセスの生成と操作 2015/12/10：パイプによるプロセス間通信 2015/12/17：第11回～第12回の内容に関する演習 2015/12/24：第13回の演習の解説、ソケットによるプロセス間通信 2016/01/14：定期試験 2016/01/21：総復習としての演習</p>						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	40%		100%			
授業到達目標の達成度	合格者については到達目標を概ね達成した。						
反省点	演習レポートを受け取り可能な時間の制約が厳しいので、事務に協力を求めるなど、時間外受け取りも可能となるような方法を考えたい。また、演習課題の解答例を配布して解説する都合上、レポート提出遅れは一切認めていない(その回の演習点が0点になる)が、遅れても0点にまではならず済むような対応も検討したい。						
来年度の計画	基本的には同内容とする。 事前にC言語を学んでいる学生のみを対象とするのでない限りは変更は難しい。						
授業評価アンケートに対するコメント	最初の導入講義の際にも説明しているように、やむを得ず非常に難度が高い講義となっているため、「理解できた」と言い難いことは仕方ないように思う。今後、本格的にシステムプログラムを身に付けていくための取り掛かりとなる基礎知識を、広く浅くではあるが学んでいるはずなので、ここで終わらせずにさらに深く学んでほしい。						
履修登録者数	13名	定期試験 受験者数	7名	合格者数	6名	合格率	86%